アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No. 94／ 2014 年 11 月

皆様の近くで，紅葉が綺麗なところは，どちらにありますか？「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」 第94」号をお届けします．

【1】10月AP研開催の報告

10月のAP研は，15～17日に，すでに紅葉が始まっていた北海道大学のクラーク会館にて無線電力伝送研究会（WPT研）と併催，IEEE AP-S Tokyo Chapter共催で行われました．チュートリアル講演では，KDDI研究所の渡辺文夫氏より，「移動体通信システムの最新動向　～ アンテナ・伝播への期待　～」というタイトルで，御講演を頂きました．未来のトラヒック量は今後もログスケールで増えていくだろう，ひいては有限な周波数の有効利用を図るアンテナ・伝播の技術革新に，ますます期待したいというメッセージを含めた貴重なお話を頂きました．

渡辺　文夫氏

【2】12月AP研開催の御案内

12月のAP研は11日に，機械振興会館においてIEEE AP-S Tokyo Chapter共催で行われ，一般講演のほか，A・P研での奨励賞　表彰式が行われます．またA・P研の忘年会となる盛大な懇親会も予定しておりますので，皆様どうぞご参加ください．

【3】2015年2月AP研のお申込みの御案内

2015年2月のAP研は，18～20日に交通の至便な兵庫県尼崎市にある尼崎市中小企業センターにて開催します．好評だった昨年に引き続き，企業の研究開発者により構成される企業特集オーガナイズドセッションを企画しております．企業の方からの日ごろ取り組んでいらっしゃるご研究内容を，この機会に発表していただき，企業の観点からの活発な議論が期待されます．投稿申込締め切りは12月8日になっております．是非ご投稿ください．なお通常通り，一般講演への御投稿もお待ちしております．

【4】2012-2013年度　AMT研アーカイブ頒布の御案内

第二種研究会　無線端末・アンテナシステム測定技術研究会（AMT研）では，2012年度から2013年度に開催された第二種研究会の予稿集（36編）のアーカイブを実費頒布します．

価格：一式5,000円（送料込み）　USBメモリにて配布

申込方法：　http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/index.php?amt/amt-archive

にあります申込フォームよりお申込みください．収録予稿リストは上記URLをご覧ください．

問い合わせ先：　笹森　崇行　E-mail: ap_ac-amt_secretary@mail.ieice.org

【5】無線で未来を描き続けるアンテナ・伝搬ならびにその関連システムの論文特集論文募集案内（和文論文誌B）の御案内

これまで，無線技術を用いた携帯電話や高画質放送などは，現在の生活の基盤となってきました．そしてこれからは，高齢化，国際化，防災，防犯，言語の壁，エネルギー供給などの課題の解決に，無線技術が引き続き未来の生活の基盤となるものと考えられます．そこで，“無線で未来を描き続けるアンテナ・伝搬の技術ならびにその関連システム”と題して最新の研究成果について，論文を募集します(2015年9月号)．

投稿締切： 2015年1月6日（火） 厳守

第1回判定通知：2015年2月下旬を予定

最終判定通知： 2015年5月中旬を予定

発行月： 2015年9月号

詳しくはHPをご覧ください． http://www.ieice.org/jpn/books/ronbuntokushu/cfp_JB_2015.9.pdf

【6】アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ（第48回）「移動通信システム用アンテナの設計思想と基地局アンテナ実現技術」の御案内（第47回再開催）

前回，第47回ワークショップでは，移動通信システムにおける基地局アンテナをテーマとして開催致しまして，大変高い評価を頂きました．これを受けまして，今回の第48回ワークショップでは，第47回と同じ内容のワークショップを，電子情報通信学会総合大会に併せて京都で開催致します．本講義は前回と同様，移動通信システム技術者およびアンテナ技術者を対象とします．移動通信システム全体におけるアンテナの仕様設定からこれに合わせた設計・構成・測定のための実用的な技術の習得を目的とします．

日時： 2015年3月9日（月） 9:30～17:00

会場： 京都福祉会館 第5会議室（〒602-8143 京都市上京区堀川丸太町下る （二条城北側），京都市営地下鉄「二条城前駅」より徒歩10分，http://www.kyo-syafuku.net/ ）

受講定員： 80名　　講師： 長 敬三（千葉工大）

受講料（テキスト代金を含み）

一般／会員 15,000円，非会員 25,000円 学生／会員 5,000円，非会員 10,000円

申込方法など，詳しくは AP研HPをご覧ください．

【7】副委員長の戯言

青色発光ダイオードの開発に関する功績で，赤崎勇先生，天野浩先生，中村修二先生の3名の方々がノーベル物理学賞を受賞されました．私も含め，研究開発に携わる日本の技術者は大変勇気づけられたことと思います．今回は特に電気系の研究者の受賞ということで，電気系の大学に携わるものとして，電気系を目指す若い人が増えることを期待しているところです．受賞に関するエピソードから，本成果は，“実現する”，という強い信念のもとに，数多くの失敗を跳ね返して，アイデアを試し続けた末に成し遂げられたものであり，研究開発者の心得を改めて教えていただきました．今回，天野先生が，“LEDの材料となる窒化ガリウムは高温で結晶を作成するのが常識だったが，実験器具の調子が悪く高温にできなかったので，低温で試してみたのが成功につながった”，と話されていました．あえて常識と違うことにチャレンジしてみることで新しいものが生まれる，という良き例だと思います．また装置の故障も運ですね．シミュレータによる計算では，なかなか意外性のあるものは生まれづらいでしょう．我々もぜひ手を動かし実験をして，新しいアンテナ実現に向けて頑張りましょう！

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長　長 敬三（千葉工大）
E-mail：ap_ac-chair@mail.ieice.org（AP研執行部のメールアドレス）
AP-NET：AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はAP研HPにて
AP研HP：http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/
ISAP Archives： http://ap-s.ei.tuat.ac.jp/isapx/